



2022-23年度RI会長

ジェニファー・ジョーンズ

第2640地区ガバナー：森本 芳宣

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：岡本 博

幹事：前田 吉彦



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

<http://tanabe-east-rc.com/>

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

〇会長報告

会長 岡本 博



- 本日のお客様は、有限会社 木村電気商会
代表取締役 木村陽一(きむら よういち)様です。
後ほど宜しくお願い致します。

- 本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。
理事・役員の方はお残りください。

- 本日のお弁当は「宝来寿司」さんです。
ご賞味ください。



〇幹事報告

幹事 前田 吉彦



- 例会日時変更
◎田辺ロータリークラブ
令和4年12月29日(木)、
令和5年 1月5日(木)、26日(木) → 休会

- 回覧
◎あるこう会「ひじょうま報告 223号」
◎週報「那智勝浦RC」

- ◎一般財団法人比国育英会バギオ基金より
「2021年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い」
- ◎第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会より
「田辺大会を彩る春の花苗・チューリップの球根植えボランティアの募集について(案内)」
- ◎森本ガバナー事務所より
「国際ロータリー第2640地区 2023-2024年度 地区への出向のお願い」
「2023-2024年度のための 地区役員名簿作成についてのお願い」
「立法案検討会での補足資料について 訂正」
- ◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま 273号」

〇本日の唱歌

「ジングルベル」

唱歌

谷本 司君



〇出席報告

会員数 37名 義務免除 5名 本日の欠席者 10名
本日の出席率 68.75%

〇ゲスト

有限会社 木村電気商会
代表取締役 木村 陽一 様



〇にこにこ報告 (敬称略)

◇有限会社 木村電気商会
代表取締役 木村 陽一様をお迎えして

◇泉房次朗、上原俊宏、岡本博、片井貢、小山實、
佐田一三、武田静也、竹中悟、竹村英一、谷本司、
中嶋伸和、西谷貞彦、野村憲司、平林圭介、
本田耕二、前田吉彦、真下京、山本亘

◇よろしくお願ひします。

木村 陽一

◇今年の字は「戦」と決まりました。
コロナ、ウクライナ、宗教問題色々ありました。
それにしても、ワールドサッカーの戦いは盛り上
がりましたね。
木村さんよろしくお願ひします。

吉田和枝

◇お花いただきます。

湯川和洋

☆本日もニコニコありがとうございました。

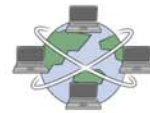
有限会社 木村電気商会
代表取締役 木村 陽一 様



《和歌山県田辺市生まれ》
実家は電気工事業を営む
祖父が創業、父が法人化
中学1年生で初めてパソコンを買う
(CASIO PB-100)



大学で理工学部専攻
数学・物理学・流体力学
数値シミュレーション
(スーパーコンピュータ使用)



Unixワークステーション・C言語
情報処理・ネットワーク・データベースの
基礎を学ぶ

大阪のIT系コンサルティング企業へ入社のものち
(パソコン系の基礎を築く)

地元へ戻り家業の「木村電気商会」へ
電気工事士として従事

身近な方々のパソコン相談を受けているうちに
「仕事」としてパソコンに触れる機会が増える

メインがIT関連の業務へ
Windowsserver環境 (ActiveDierctroy) の
構築・運用
VPNによる複数拠点のネットワーク構築

〇今日のお弁当

本日のお弁当は
「宝来寿司」さんの
お弁当でした。
美味しく頂きました。



〇次回プログラム

12月21日 前期最終例会 会長挨拶

12月28日 休会 (年末)

1月 4日 休会 (年始)

1月11日 後期初例会 移動例会 18:00~
新年家族会 ホテルシーモア



○本日のプログラム

有限会社 木村電気商会
代表取締役
木村 陽一 様



「サイバーセキュリティ講座」 ～身近にひそむサイバー攻撃～

皆さん、こんにちは。

有限会社木村電気商会の木村陽一と申します。本日は「サイバーセキュリティ講座」ということで、こうした機会を頂戴し誠に有り難うございます。意外と身近に迫っているサイバー犯罪の脅威についてお話をさせていただきたいと思います。拙い話になるかも知れませんが宜しくお願いいたします。

まず現在の弊社の業務についてですが、地元の企業様や各種団体等でパソコン関連の機器管理やメンテナンスのお仕事をさせていただいております。そんな中で最近増えてきている相談が「うちのセキュリティ、大丈夫？」というものです。

最初に普段の仕事の中で出会ったサイバー被害についていくつかご紹介したいと思います。

1つ目はメールを送信できなくなった案件です。お伺いして調査したところウイルスに感染しており、知らない間に大量のメールを送信していたことでプロバイダ側で送信をストップされていました。

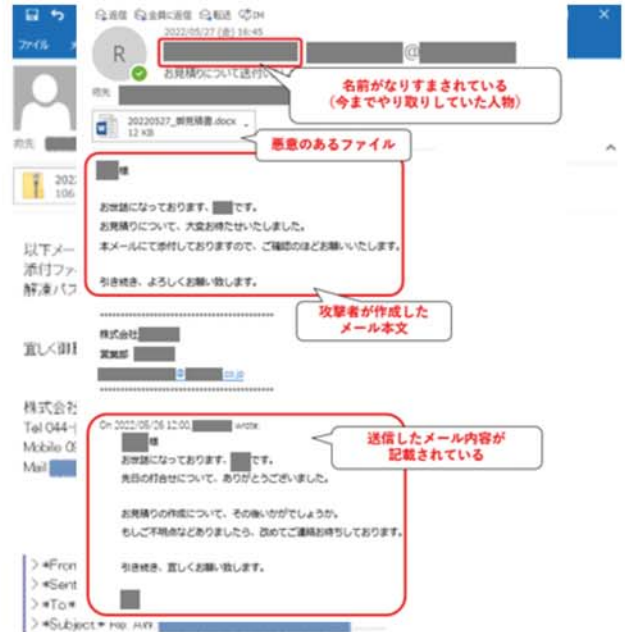
このときはEmotet（エモテット）に感染していたため、JPCERT/CC（ジェイピーサートシーシー）から提供されているEmoCheck（エモチェック）を使って発見することができ無事駆除しました。

2つ目は不屈のチャレンジ案件と呼んでいます。メールで届いたExcel添付ファイルが何度やっても開けない、しかも保存した添付ファイルがすぐに消えてしまう、という摩訶不思議な症状で連絡をいただき訪問調査いたしました。

これも中身はウイルス（Excelマクロ）で保存時にはセキュリティが反応せず、実行時にウイルス対策ソフトが自動的に削除しているという挙動でした。検知ログによると10回以上も実行を試みていたようで、ウイルス対策ソフトの重要性をあらためて痛感した案件でした。

次に世間で起こっていることについて少しご紹介したいと思います。

全国的に見てEmotetが流行しています。知人や取引先の名前を騙ったメールでウイルスを送り込んでくるもので、添付ファイルを暗号化してあるためセキュリティ機器や対策ソフトに駆除されることなく受信してしまいます。2022年3月頃に爆発的に流行した後しばらく沈静化していましたが、11月上旬に亜種が発見されるなど周期的に流行する気配を見せています。不定期に増加する可能性があるため継続的に注意が必要です。



あと、フィッシングメールも大量に届いています。大手金融機関やクレジットカード、ショッピングモール等の名前を騙ったメールで本物そっくりで作られた偽サイトに誘導し、IDやパスワード、クレジットカード番号などを詐取します。詐取された個人情報はさらなるサイバー犯罪に使用される恐れがあるため非常に危険です。

緊急情報

一般および事業者から受け付けたフィッシング報告のうち、消費者への影響が大きいと考えられる数しています。

2022年12月09日	オリコをかたるフィッシング (2022/12/09)
2022年12月01日	ソフトバンクをかたるフィッシング (2022/12/01)
2022年11月30日	OCNをかたるフィッシング (2022/11/30)
2022年11月28日	BIGLOBEをかたるフィッシング (2022/11/28)
2022年11月15日	ETC 利用照会サービスをかたるフィッシング (2022/11/15)
2022年11月15日	So-netをかたるフィッシング (2022/11/15)
2022年11月10日	楽天市場および楽天カードをかたるフィッシング (2022/11/10)
2022年11月08日	ゆうちょ銀行をかたるフィッシング (2022/11/08)
2022年11月04日	ソニー銀行をかたるフィッシング (2022/11/04)
2022年10月28日	じらんをかたるフィッシング (2022/10/28)

もう1つご紹介したいのはネットワーク機器が狙われているということです。

ここでいうネットワーク機器とは、ルータやUTMなどインターネットの外部と直接繋がっているもので、ネットワークの内側にあるパソコンなどと異なり常に攻撃を受ける危険に晒されています。これらに既知の脆弱性があると、そこを突かれることで社内のネットワークに侵入されてしまいますので、情報の窃取や暗号化という被害に繋がります。

最近話題になったところでは徳島県の半田病院というところで電子カルテが暗号化されて使用不可能となり、病院の業務が一時すべて手作業になってしまったということがありました。自動車メーカーのトヨタも関連会社がサイバー被害に遭ったことから工場の操業を一時停止する事態に陥りました。

特にトヨタの一件は「サプライチェーン攻撃」というもので、セキュリティが強固な大会社や官公庁を直接攻撃対象とするのではなく、その関連である中小零細企業を狙って攻撃を仕掛け、業種的な繋がりを使ってより大きなターゲットを攻撃するという手法です。例外なくありとあらゆる企業が対象となりますので、皆様方にも広くご注意をいただきたいと思います。



これらの犯罪は多くの場合「二重脅迫型ランサムウェア」という形で金銭（ビットコイン等）を要求されます。暗号化されたデータを元に戻すために身代金を要求し、さらに窃取したデータをウェブサイト上で不特定多数に暴露するとして身代金を要求してきます。

■「情報セキュリティ10大脅威 2022」

NEW: 初めてランクインした脅威

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
2位	フィッシングによる個人情報等の詐取	1位	ランサムウェアによる被害	1位
3位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	2位	標的型攻撃による機密情報の窃取	2位
4位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	3位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
5位	クレジットカード情報の不正利用	4位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	3位
1位	スマホ決済の不正利用	5位	内部不正による情報漏えい	6位
8位	偽警告によるインターネット詐取	6位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	10位
9位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	7位	修正プログラムの公開前を狙った攻撃（ゼロデイ攻撃）	NEW
7位	インターネット上のサービスからの個人情報窃取	8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	5位
6位	インターネットバンキングの不正利用	9位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	7位
10位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10位	不注意による情報漏えい等の被害	9位

むずびになりますが、サイバー犯罪から身を守るために3点だけ大切なことをお伝えしておきたいと思えます。

1つ目は「全てを疑う」ことです。届いたメールやウェブサイトに書かれているリンクを安易にクリックしない、真偽が不確かな時には面倒くさくともインターネット検索などを使って正規のサイトにアクセスするようにしてもらいたと思います。セキュリティを高めることと利便性を求めることはトレードオフの関係にあり、「面倒くさい」から「より安全な方へ」を意識していただくことで少しでも危険を遠ざけることが出来ます。

2つ目は「バックアップを取る」ことです。データを暗号化されると業務が停滞し、多くの情報資産を失うことにも繋がります。これを回避するには日頃からバックアップを作成しておき、万一の場合に備えることが重要です。ルールを決めて複数のバックアップを取るようにしていただくことで損失を最小限に抑えることが可能となります。

3つ目は、**これが一番重要か**と思えますが「情報の収集」に努めていただきたいというものです。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」サイバーセキュリティに関する情報が多く提供されているサイトから4つだけご紹介させていただきます。

きしゅう君の防犯メール
JPCERT/CC
IPA (情報処理推進機構)
フィッシング対策協議会

以上で私のお話を終わらせていただきたいと思います。駆け足になったところ説明不足だったところもあるかと思いますが平にご容赦くださいませ。

最後になりますが、今回のお話が少しでも皆様の安心安全のために役立ちましたら幸いです。今回は貴重な機会をいただき誠に有り難うございました。

